

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成17年12月2日(2005.12.2)

【公表番号】特表2001-520828(P2001-520828A)

【公表日】平成13年10月30日(2001.10.30)

【出願番号】特願平10-543921

【国際特許分類第7版】

H 0 3 F 3/68

H 0 3 F 1/02

H 0 3 F 3/72

【F I】

H 0 3 F 3/68 B

H 0 3 F 1/02

H 0 3 F 3/72

【手続補正書】

【提出日】平成17年4月14日(2005.4.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

手続補正書

平成17年4月14日

特許庁長官 殿

1. 事件の表示

特願平10-543921号

2. 補正をする者

名称 クウアルコム・インコーポレイテッド

3. 代理人

東京都千代田区霞が関3丁目7番2号

鈴 榮 特 許 綜 合 事 務 所 内

〒100-0013 電話03(3502)3181 (大代表)

(5 8 4 7) 弁 理 士 鈴 江 武 彦



4. 自発補正

5. 補正により減少する請求項の数 8

6. 補正対象書類名

請求の範囲



7. 補正対象項目名

請求の範囲

8. 補正の内容

(1) 請求の範囲を別紙の通り補正する。



請求の範囲

1. 電源電圧を受ける第1の電源電圧入力部と、増幅される信号とバイアス信号とを受信する第1の信号入力部とを有する第1の増幅段と；

前記電源電圧を受ける第2の電源電圧入力部と、増幅される前記信号と前記バイアス信号とを受信する第2の信号入力部とを有する第2の増幅段と；

前記第1と第2の電源電圧入力部に結合された電源電圧出力部と、前記第1と第2の信号入力部にそれぞれ結合された第1と第2のバイアス信号出力部と、及びモード選択信号を受信するモード選択入力部とを有する制御回路であり、前記制御回路は前記電源電圧と前記バイアス信号を前記モード選択信号に応じて変化させる制御回路と；

ここにおいて、前記モード選択信号は第1と第2の動作モードを示し、また、前記制御回路が、前記第1の動作モードにあるときは前記電源電圧を増加させ、前記第1の増幅段をオン状態にバイアスし、また、前記第2の動作モードにあるときは前記電源電圧を減少させ、前記第1と第2の増幅器をオン状態にバイアスする、

を備える増幅回路。

2. 前記第1の動作モードが高線形性モードであり、前記第2の動作モードが高効率性モードである請求項1に記載の増幅回路。

3. 前記第1の動作モードがデジタル通信モードであり、前記第2の動作モードがアナログ通信モードである請求項2に記載の増幅回路。

4. 前記第1と第2の増幅段がそれぞれ第1と第2の電解効果トランジスタであり、前記第1と第2の電源電圧入力部がそれぞれ第1と第2のトランジスタドレインであり、前記第1と第2の信号入力部がそれぞれ第1と第2のトランジスタゲートである請求項3に記載の増幅回路。

5. 前記第1と第2のトランジスタドレインが一緒に結合される請求項4に記載の増幅回路。

6. 高線形性動作モードと高効率性動作モードを有する増幅回路であって、前記増幅回路が：

可変アクティブデバイス周辺部と可変電源電圧を有する増幅器と；および
前記増幅器に結合され、前記高線形性動作モードにあるときは前記可変アクティブ周辺部を減少させ、前記可変電源電圧を増加させ、前記高効率動作モードにあるときは前記可変アクティブデバイス周辺部を増加させ、前記可変電源電圧を減少させる制御回路と；

ここにおいて、前記可変アクティブデバイス周辺部が複数のトランジスタ段と備え、また、前記制御回路が、前記複数のトランジスタ段の内の少なくとも1つをオフにバイアスすることによって前記可変アクティブデバイス周辺部を減少させ、また、前記制御回路が前記複数のトランジスタ段の内の少なくとも1つをオンにバイアスすることによって前記可変アクティブ周辺部を増加させ、前記複数のトランジスタ段の各々が前記可変電源電圧に結合されたトランジスタ出力部と増幅される信号に結合された入力部を有する、
を備える増幅回路。